

トピック UPZ(5~30km圏内)の「屋内退避」

屋内退避の指示が出されたら

自宅や職場、最寄りの公共施設等の建物の中に速やかに入ってください。また、指示があるまで外出しないでください。

放射性物質が放出された場合、屋外で行動すると被ばくの危険性が高まるおそれがあります。

地震の影響で、自宅での屋内退避が困難になった場合は、近隣の指定避難所へ避難し、そこで屋内退避します。

一時移転・避難の指示が出されたら

UPZの住民が一齐に一時移転・避難を行うわけではありません。お住まいの地域の空間放射線量率が国の基準を超えた場合に一時移転等の指示が出されますので、各自治体の指示に従って、落ち着いて行動してください。

1時間あたり
20 μ Sv以上

1週間程度内に
一時移転を行います。

1時間あたり
500 μ Sv以上

数時間のうちに
すぐ避難を行います。

Point! 各自治体の指示に基づく避難が大切です!

県が実施した避難時間シミュレーションでは、UPZの住民が県や関係機関の指示に基づかないで一齐に避難した場合、PAZ(5km圏内)の住民の避難時間が最長で60時間以上も長くなるとの結果が出ております。

令和元年度 第2回

原子力安全対策連絡協議会を開催しました

原子力安全対策連絡協議会



川内原子力発電所周辺の住民の安全と環境の保全を図るため、「原子力安全対策連絡協議会」を年4回開催しています。知事の進行のもと、環境放射線調査結果等について協議などが行われました。

日時 令和元年8月16日(金)
午前10時30分~11時30分

場所 レンブラントホテル鹿児島

構成委員

鹿児島県	知事	議長
薩摩川内市	市長	議長
いちき串木野市	市長	議長
阿久根市	市長	議長
県漁業協同組合連合会	会長	議長
県農業協同組合中央会	会長	議長
県商工会議所連合会	会長	議長
県商工会連合会	会長	議長
県医師会	会長	議長

原子力防災講座 その1

原子力災害の特殊性

- 放射線は、目に見えず、味やにおいもしないなど五感では感じることができませんので、原子力災害時には、どのように行動すればよいかを自ら判断することが困難です。
- いざという時のために、原子力災害時の心構えや情報伝達の流れについて知っておくことが大切です。



外部被ばく

大気中や地表に沈着した放射性物質など、体の外から放射線を浴びること。

内部被ばく

呼吸や食べ物などで放射性物質を取り込み、体の中から放射線を浴びること。

放射線を体に浴びることを「被ばく」といいます。被ばく線量は、放射線量×時間で決まるので、放射線を避けることが原子力防災の基本になります。

災害時の心構え

- 災害が起こると、さまざまな情報が飛び交い、混乱が起こりやすくなります。
- 国や県、関係市町が発表する正しい情報を確認し、指示に従ってあわてずに行動することが大切です。

万一、災害が起きたら…



うわさやデマに注意しましょう!
関係機関などが発表する情報をしっかり確認しましょう。



ご近所の方と情報を確認しましょう!
お年寄りや体の不自由な方には、特に声をかけるようにしましょう。



落ち着いて行動しましょう!
人が集まる場所・道路では、市町の担当者や警察官の指示に従いましょう。

住民への情報伝達

- 原子力災害の情報は、テレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車、メールなどのあらゆる手段を通じてお知らせします。
- 最新情報やデータをこまめにチェックし、すぐに行動できるよう情報収集に心掛けましょう。

